



### 【巡回訪問運動遊び】

## 「うちの子、運動遊びで鉄棒をするのが不安なようです。」



巡回訪問運動遊びをご覧になったことがない保護者の皆様にとっては、「巡回訪問運動遊びでは、どんなことをしているのだろう」「鉄棒を嫌がっているのではないか」「嫌がることをさせらるのではないか」と心配されておられるのではないかと思います。

もちろん参加する子どもたちも同じです。初めはきっと、「何をするのか」「難しいことをするのはないか」「怖いことをやるんじゃないか」と想像し、不安になったりするのでしょう。ですが、**ご安心ください！** **運動遊びの「ねらい」は、**毎回お伝えしているように**高度な技術の向上ではありません。**



### 「運動遊びのねらい」は・・・

- 友だちと関わりながら遊ぶ。
- 楽しく体を動かすことが好きになる。
- 「できなかったこと」が「できた！」という達成感・満足感を味わう

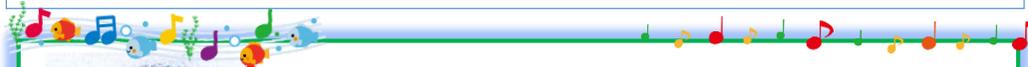
鉄棒に入るまでに、「**やってみよう！**」「**やってみよう！**」という気持ちになるような遊びを鉄棒より前に持ってきています。また、鉄棒の遊びも1種類ではなく、自分で選択できるよう2種類にしたりするなど、「**自分で決める**」ことで無理なく楽しめ、自信につながり、「**できた！**」という達成感や満足感も味わうようにプログラムしています。だから実際、巡回訪問の際は、「鉄棒を触りたくない！」という子はいません。むしろ、「**もっとやりたい！**」という声ほとんどです。

1人でも多くの子どもたちが、「**運動って楽しいね！**」と思ってもらえるよう、保護者の皆様にも「**運動遊びのねらい**」をご理解いただき、二人三脚で子どもたちの成長を見守っていきたいと思っておりますので、今後ともご協力のほど、よろしくお願い致します。

こども育成課には、「保健師」、「臨床心理士」、「社会福祉士」、「家庭相談員」など、各専門分野の職員が在勤しています。  
**子どもの「ココロ」と「カラダ」**と題し、今後専門職員より保護者の皆様へお伝えしたい情報をお届けします。  
これからもよろしくお願いいたします。



運動遊び指導員 千葉 美和



## 子どもの「ココロ」と「カラダ」①

### 今 お父さんお母さんに求められているもの



指導主事 北村友子

今までにもお伝えしているかと思いますが、運動遊びは単に子どもの体力や運動技能を高めるのではなく、**子どもの心身の成長にとって図りしれない「学び」がある**のです。

その「学び」を支えるためには、お父さん、お母さんの理解と協力が必要なのです。その一つとして、**大人が遊びの場面で教えすぎないことが大切**です。運動のみならず、何でも大人が先取りをして教えてしまったら、子どもが試行錯誤したり、考えたり工夫したりするチャンスを奪ってしまうことになります。

大切なのは、**子どもが楽しむための手だてやきっかけを準備し、遊びを見守り励ますことです。**

**挑戦しようとしたことができるようになったり、難しいことを克服したりしたときには、最高の褒め言葉をかけてあげることです。**

それが次への意欲につながり、自己肯定感にもつながるのです。

**子どもが運動遊びに熱中する中で、育っていくことを大切にしましょう。**

## 😊 親子で遊ぼう 😊

「飛行機～♪」と言って、少し左右上下に揺れてみるなどし、子どものバランス感覚を育てましょう。無理やり腕をひっぱらないように、ご注意ください。必ず両手を支えましょう！



